

会議録

会議の名称		令和 8 年度 第 1 回福津市郷づくり推進協議会代表者会議
開催日時		令和 8 年 6 月 1 日(月)14:00～15:35
開催場所		市役所別館1階 大ホール
委員		勝 浦 : 荻原 哲夫、谷口 正秀 津屋崎 : 楠田 元明(副会長)、川内 太 宮 司 : 梅野 邦彦(副会長)、財部 順一郎 福 間 : 岡田 和憲(会長)、財満 正憲 神 興 : 富松 享一、山西 祐司 上西郷 : 高木 文明、小山 博敏 神興東 : 木下 重幸、的場 文彦 福間南 : 西村 豊子、笹口 篤
専任事務局員		—
市		福井市長 人事・危機管理担当部長:吉崎部長 危機管理課:高山課長、佐々木係長
事務局		市民生活部:平田部長 地域コミュニティ課:谷口課長、向井係長、久保寺、松本
会 議	内容	1. 市長あいさつ 2. 郷づくり推進協議会代表者会議について 3. 委員の自己紹介 4. 会長・副会長の互選 5. 依頼・説明事項 (1)「令和 7 年 8 月 6 日からの低気圧と前線による大雨に伴う災害を踏まえた課題と今後の対応」(危機管理課) (2)令和 8 年度福津市一斉防災訓練の実施について(危機管理課) (3)郷づくり推進条例(仮称)について(地域コミュニティ課) 6. その他
	配付資料	☐ 福津市郷づくり推進協議会代表者会議設置要綱 ☐ 令和 8 年度 福津市郷づくり推進協議会代表者会議委員名簿 ☐ 令和 7 年 8 月 6 日からの低気圧と前線による大雨に伴う災害を踏まえた課題と今後の対応 ☐ 令和 8 年度 福津市一斉防災訓練の実施について (依頼) ☐ 福津市郷づくり推進条例解説書 (素案) ☐ 地域コミュニティ課からのお知らせ

会議内容(要点)

1.市長あいさつ

福井市長があいさつを述べた。

2.郷づくり推進協議会代表者会議について

郷づくり推進協議会代表者会議の趣旨・目的について、福津市郷づくり推進協議会代表者会議設置要綱を基に説明した。

3.出席者の自己紹介

各委員の自己紹介を行った。

4.会長・副会長の互選

会 長：福 間 岡田 和憲

副会長：津屋崎 楠田 元明

副会長：宮 司 梅野 邦彦

一同の賛同により承認された。

5.依頼・説明事項

①「令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨に伴う災害を踏まえた課題と今後の対応」について

危機管理課が令和7年8月6日からの大雨に伴う課題と今後の対応について説明した。

(委員)

2点確認したい。1つ目は、郷づくりの防災計画の中での位置づけ。連絡や調整はあると思うが、実際に災害が起こったときに郷づくりは何をすればよいのか分からない。

2つ目は、昨年8月の大雨の際の避難所設置についてであるが、住民から「どこが避難所か分からなかった」「設置が遅いのでは」という声があった。雨が降っている段階で設置されても避難できないという意見が多くあった。

(危機管理課)

1点目について、協議会にお願いしたい内容としては、市が避難情報を発令した際の情報共有である。協議会と構成自治会が自主防災組織として地域の防災に対応する組織となるため、情報共有をお願いしたい。また、宮司地区では先行して避難所運営を共働で行っている。避難所が1週間を超える場合等長期化する場合は、市職員による運営から自主防災組織や避難者自身による運営に移行する必要がある。今後、避難所運営のあり方についての取り組みも進めていきたい。

2点目の避難所設置のタイミングであるが、資料5ページのとおり、避難指示と避難所開設は8月10日15時であった。このタイミングで防災行政無線・エリアメールで周知したが、市としても避難

指示のタイミングは遅かったと振り返りをしている。本来は 9 日 21 時 35 分の土砂災害警戒情報発表時点で出すべきであった。今後は地域防災計画に基づき、適切なタイミングで発令していく。

（委員）

夜間に避難指示が出るのは危険ではないか。日中の雨が弱い時間帯に避難すべきではないかという意見があった。

（危機管理課）

線状降水帯による雨の降り方の予測の難しさがあるが、早めの避難指示を心掛けて、徹底していきたい。

（会長）

重要なのは「誰が、いつ、どのタイミングで指示を出すか」である。資料には反省点が十分書かれていない。広報ふくつ令和 8 年 6 月号には、情報の伝え方や避難のタイミングなど、今後に向けての課題が記載されている。今後どう対応していくかが 1 番のポイントのため、本日のような資料にも教訓として残すべき。

（委員）

資料 9 ページの西郷川の水位グラフ箇所に、当日は引き潮だったため被害が少なく済んだという点が記載されていない。満ち潮ならもっと被害が広がるはずであるため、記録として残すべき。

（危機管理課）

ご指摘のとおり。資料に追記し、情報発信を行う。

（委員）

満ち潮時のシミュレーションもぜひ行ってほしい。それから危機管理監の役割について伺いたい。単に係長という位置付けでなく、市全体を指揮する立場にあるのか。

（危機管理課）

専門知識を持つ人材として、職員の危機管理体制や危機管理本部等の運営について課内で助言したり、部長を通じて市長にも進言する立場を想定している。

（委員）

郷づくりに何を期待しているのかが分からない。

（危機管理課）

郷づくりに引き続き、一斉防災訓練等を通じた市民に対する自助・共助の推進について協力願いたい。

（委員）

また、匿名・流動型犯罪グループによる犯罪や高齢者を狙った投資勧誘・特殊詐欺などは危機管

理課の担当ではないのか。

(危機管理課)

防犯に対して市としては啓発や見守りは行うが、取り締まりは警察の権限のため、連携して対応する。

(会長)

災害に強く安心して暮らせるまちづくりに向けた課題については、一度で結論が出るものではない。行政と郷づくりが協力して進めていく方向性を、分かりやすい形で示して欲しい。

②福津市一斉防災訓練の実施について

危機管理課が令和 8 年度福津市一斉防災訓練の実施について説明した。

(委員)

自治会に入っていない人への対応はどうするのか。

(危機管理課)

自治会未加入者が 30%を超えているという状況を踏まえて、今後どう防災意識を高めるか検討していく。

(委員)

昨年、自治会未加入者への自治会の PR にもなるため、小学校と連携して防災訓練を行ったが、各家庭の事情もあり、自治会加入までには至っていない。特に上西郷地域は、地域が広く有線放送も届かないので、市としても対策を考えてほしい。

(会長)

静岡県の防災に対する意識が非常に高い。自治会加入に関係なく、子どもがいる家庭にはヘルメットや防災頭巾を配布するなど、参考になる取り組みもある。福津市でも取り入れられるものは取り入れてほしい。

(危機管理課)

自分の静岡での経験を生かし、福津市でも普及できるよう検討していく。

(委員)

上西郷地域では、昨年度の防災訓練において小学校と連携して実施した理由は、防災は自治会加入の有無に関わらず全ての住民に関係する。そのため、児童への防災教育を通じて命の大切さや防災意識の向上につながると考えている。市に対し、教育委員会との連携を強化し、学校における防災教育や防災訓練への協力を働きかけてほしい。

(会長)

自治会未加入者への対応については、行政と地域が連携し、地域の実情に応じた取り組みを進める必要がある。また、自治会未加入者も参加しやすい防災訓練の実現に向け、引き続き検討を進めていくことが大切である。

③郷づくり推進条例（仮称）について

地域コミュニティ課が「郷づくり推進条例（仮称）」の解説書素案について説明した。

(委員)

追加での意見提出はいつまでか。

(危機管理課)

6月10日を目途に提出してほしい。

6.その他

地域コミュニティ課が、「条例制定に向けたワークショップ」「交付金検討委員会」「郷づくり協議会や自治会を対象とした令和8年度講座」の案内を行い、「コミュニティ助成事業の採択状況」を説明した。

(委員)

自治会未加入者問題について、市と一緒に取り組んでいきたいと思っている。自治会加入促進条例を検討してほしい。

(会長)

以上で代表者会議を終了する。